

平成 30 年度

一般社団法人京都府訪問看護ステーション協議会

第 25 回定期総会 報告

日時

平成 30 年 5 月 19 日（土）

11 時～12 時 5 分

場所

京都府立総合社会福祉会館
ハートピア京都 3 階大会議室

次第

会長あいさつ

議長選出

議案審議

第 1 号議案

第 2 号議案

閉会挨拶

会長あいさつ

濱戸 真都里



京都府訪問看護ステーション協議会として 25 回目の総会をえます。平成 25 年に一般社団法人化し、6 期目となりました。昨年は念願であった専任事務担当者を雇用し、今年度は京都府補助金事業事務効率化による訪問看護人材確保事業担当者を新規雇用いたしました。よって協議会事務所には常駐者が居る状態となります。

昨年の定期総会において承認された理事定数変更で、地区支部理事を運営委員とし、これにより登記書類の準備等の手間や経費等削減ができました。今年度は理事 8 人体制で運営してまいります。対外的な会議に出席することで訪問看護師としての考え方や、協議会としての意見を求められることも多く大変だと思いますが、今後も地域の活動や協議会をみんなで盛り上げていきましょう。

平成 30 年 4 月には、診療報酬改定や介護報酬改定がございましたが、今後も加算が付く業務内容を実施できるよう、事業計画・研修計画を立てております。協議会の動きとしましては、運営委員が地区会議で上がってきた疑問や問題に対して、担当行政等に確認し、地区会員に配信し共有でき助かったという報告がありました。運営委員は 2 年任期です。地区の発展に前向きに努力・活動を行い、交代の際には次の運営委員に繋ぐ、そして循環する関係性ができれば、より協議会としての意義が深まると考えます。

議案審議

第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算について、第 2 号議案 平成 30 年度事業計画及び予算について説明がなされ、審議の上、原案通り承認されました。

議長団



法人化 6 期目にあたって

<平成 29 年度の活動>

府の基金交付を受け、訪問看護師の経験年数に応じた研修（新人・中堅管理者研修）専門分野研修（在宅緩和ケア・在宅療養児支援・精神科訪問看護）を実施してきました。これらの研修を会員はすべて無料で受講できます。更に広報活動として、年 1 回定例化した「第 5 回訪問看護の日」公開講座や第 13 回訪問看護研究発表会を開催しました。また、多職種（ケアマネジャー、薬剤師、栄養士等）や訪問看護師が、希望する訪問看護ステーションで実習できる「現場研修事業」を実施し、それぞれに成果が得られています。その他、看護協会の府委託事業「人材の定着化を図る新人訪問看護師個別 OJT 研修」に協力機関として参画しています。また、社会貢献として、京都市消防局から依頼を受け、特に火災の犠牲となりやすい高齢者等世帯の火災予防を目的として、焼死者ゼロを目指し、京都市と「高齢者等世帯の火災予防に関する協定」を締結しました。

今年度の活動

介護保険・医療保険の報酬改正に伴い、会員ステーション対象の報酬改定説明会を 4 月 28 日に開催し、180 名以上の参加がありました。同時に昨年度当協議会の制度検討・マニュアル委員会が作成した「京都府訪問看護ステーション協議会版・看護師のクリニカルラダー」の運用説明を行い、各ステーションの看護師教育に役立てられるようにしました。また、新たに「事務効率化による訪問看護人材確保事業」を府の補助を受けて実施することとなりました。

* 詳細は平成 30 年度研修計画をご参照下さい。

地域における地区支部の活動は重要課題

京都府内の保健所圏域を基に 7 つの地区に分け、定期的に管理者会議に集い、地区毎に活動目標を設定して研修の企画を実施し、地域の実情に合った活動が出来るように取り組んでいます。特に今年度からは、看取りケアにおける地域での多職種チーム作りの推進や在宅療養児への訪問看護提供ステーションの増加、在宅医療介護連携事業への参画など、それぞれの地域で訪問看護の力を発揮していきましょう。

行政や他団体との連携

今後、当協議会を発展させていくためには、行政や他団体との良好な関係を築き保っていくことが不可欠です。諸事業を真摯に遂行して行く事、会議等で適切な意見を述べること等の積み重ねが信頼される団体として認知されることに繋がります。それが政策提言、要望の場などへの参画にも繋がることを意識して活動していくことが望されます。

皆で取り組み築いていく協議会

昨年度は、念願の事務局に専任者を配置することができました。協議会理事、運営委員は皆、自ステーションの管理者として務めを果たしながら役務を全うしています。今後も皆さまのご理解とご協力をいただき、皆で協議会活動に積極的に取り組んでいける事を期待しています。

春の講演会 報告



「支えあって生きる」

～ともに楽しみ、自分らしく生きるには～

講師 株式会社あおいけあ

代表取締役 加藤 忠相氏

司会 在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス

代表 宇都宮 宏子氏

多くの会員で埋め尽くされた会場の中、春の講演会が始まりました。身振り手振りの熱意のこもった加藤氏の語りは、会員の心を驚きにし、笑いあり涙ありの素晴らしいひと時となりました。また後半20分は、賛助会員の宇都宮氏と副会長の高橋氏・西尾氏を交え対談を行いました。

今回の講演会の中で印象に残った言葉は、「良い介護の人材とは、目の前にいる人に何ができるのかを考えることができる人」またリーダーは、「スタッフが考えられるように考えること」が大事であると。また「すべて現場が決めていい」と言い切られたことです。

アンケート結果（記述部分）

お年寄りもご家族もスタッフもご近所さんも、みんなが嬉しい・楽しい介護スタイルの「あおいけあ」。その人の能力を最大限に引き出すケアが、スタッフにとっても本人にとっても元気の素であると実感しました。訪問看護の視点と違ったお話は、驚きと感動の連続でした。また、写真やビデオから溢れ出る笑顔と笑い声そして涙に大変感銘を受けました。この講演会を経て、訪問看護の中でも地域で生活されている方の、その人らしい生き方を応援していく強く思いました。



- ・その方の人生が豊かに過ごせる為に私達に何ができるのか、短い間の時間でどのように内容を積み上げていくのか、時間と思いの間でどう関わるのか、いろいろ自分自身を振り返り、課題をいただいたように思います。ケアニア是非観てみたいと思いました。
- ・看護も介護も考え方は同じであると思った。自分を振り返るいい機会でした。今後の訪問看護で利用者の方と関わる時に、自分の中での考え方を確立でき、目を向ける事ができると痛感しました。話も興味深くとても良かったです
- ・国の抱えている問題、実際との温度差で日々考えている内容であった。
介護の現場は縛りが多くて実際出来ない事が多くて悩む事が多いが、そうではないことに気付けた。
- ・自分が年を重ねていったら、通いたい、住みたいと思いました。全国に広めていって欲しいと思います。
- ・自分のやりたい目標が定まった様に思います。
- ・現在行っている訪問看護を振り返り自分達の看護に役立てていきたいと感じました。利用者の方々と生き生きと地域で過ごせるように。